

花の街

教材研究

学習目標 詩や曲の背景を理解して歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 詩や曲の背景を理解し、そこに込められた思いを生かした歌唱表現や美しい日本の「心の歌」に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：旋律、強弱
用語や記号など：フレーズ

教材の有効性

作品の背景を生かした表現の工夫

詩や曲に込められた戦争や平和についての作者の思いを「作詞者の言葉」や「作曲者の言葉」から感じ取り、それを生かして曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

歌詞の内容と結び付いた曲想の理解

旋律の動きや強弱記号に注目することによって、詩の内容や心情が音楽とどのように結び付いているかを理解することができる。

気持ちを込めた歌唱表現

教科書 p.19「My Voice!」と関連付けて学習することによって、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な姿勢、呼吸、発声などの技能を身に付けることができる。

早春賦

教材研究

学習目標 情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：リズム、強弱

用語や記号など：拍子、*pp*

教材の有効性

歌詞の内容を生かした表現の工夫

歌詞の表す情景を想像し、春の訪れを待つ心情を理解しながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

拍子や強弱の理解

8分の6拍子の拍子感、強弱記号の意味、A(aa')B(ba'')の二部形式の構成などを理解し、それらの特徴を感じ取って曲にふさわしい表現を工夫することができる。

美しい日本の情景

歌詞と音楽とが一体となって描く美しい日本の情景を味わいながら、大切な音楽文化の一つとして美しい日本の「心の歌」を歌い継いでいきたいという心情を育むことができる。

ふるさと

教材研究

学習目標 声が響き合う美しさを味わいながら合唱しよう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 歌詞の内容や音の重なり、声が響き合う美しさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(イ)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、テクスチャ

教材の有効性

無伴奏合唱による表現の工夫

伴奏に頼らず、自分たちの声だけでハーモニーを生み出す喜びを味わうことができると同時に、曲にふさわしい歌唱表現をより一層主体的に創意工夫することができる。

混声三部合唱を通したテクスチャの理解

和声的な混声三部合唱と、多声的な混声三部合唱の2通りのテクスチャによる編曲になっている。主旋律はソプラノ→男声→アルト→ソプラノの順に受け渡され、全てのパートが分担する。実際の歌唱活動を通してテクスチャの理解を深めることができる。

歌詞の内容と曲想との関わり

歌詞の表す情景や心情を想像し、強弱の変化を生かしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

帰れソレントへ

教材研究

学習目標 曲想を生かして表情豊かに歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 歌詞の表す情景や心情及び同主調への転調による表情の変化やその味わいに関心をもち、カンツォーネの情熱的で表情豊かな歌唱表現を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A 表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：速度、旋律、強弱

用語や記号など：調、*rit.*、*a tempo*、フェルマータ

教材の有効性

調や速度の変化を生かした表現の工夫

短調と長調の違いを感じ取ったり、随所に示されている速度用語やフェルマータなどによる速度の変化の効果を感じ取ったりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

音楽の特徴の理解

曲中に現れる同主調への転調を理解し、表情豊かな表現の工夫に生かすことができる。

カンツォーネの表現に触れる体験

ドラマティックな音の動きや曲想の変化、強弱や速度の大きな変化など、カンツォーネの情熱的で表情豊かな表現に触れることができる。

Hey Jude

教材研究

学習目標 曲の雰囲気を生かして英語の歌を歌おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
(知識及び技能)
- (2) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 英語の語感を生かした旋律やリズムの働きが生み出す曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、英語の歌に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(1)歌唱 ア、イ(イ)、ウ(ア)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、旋律

教材の有効性

曲想を生かした表現の工夫

世界的に有名なロックの古典的名曲を知り、作品の背景についても理解しながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

曲種に応じた発声の工夫

校歌や合唱曲を歌うときとは異なる、ポピュラー音楽特有の声の音色を意識し、曲に親しみながら歌唱の技能を身に付けることができる。

英語の特性の理解と表現

1音節に複数の子音が含まれる箇所があったり、語感を生かすためにリズムをくずして歌ったりする英語の歌の特性を理解し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

My Melody

教材研究

学習目標 和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくろう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) リズム、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 和音の響きの移り変わりや音のつなげ方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むとともに、コード進行を手がかりにした旋律創作に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A 表現(3) 創作 ア、イ(ア)、ウ

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：リズム、速度、旋律、構成

教材の有効性

音のつながり方の特徴を生かした旋律の創作

ハ長調の音階の特徴や音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、その知識を生かしながら創作表現を創意工夫することができる。

ハ長調の音階の特徴の理解

ハ長調の音階の構成音やその和音の動きを理解し、それらの特徴を生かした音のつながり方を工夫して旋律をつくることができる。

五線譜による記譜

つくった旋律を、グラフィックな方法で記録してから五線譜に書き写すことによって、音高を感じながら比較的容易に五線譜による記譜を学習することができる。

Let's Create!

教材研究

学習目標 伴奏を工夫して自分だけの音楽をつくろう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 旋律と伴奏との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むとともに、アレンジによって音楽を豊かに楽しむ態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A表現(3)創作 ア、イ(イ)、ウ

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、テクスチャ、構成

教材の有効性

音素材、音の重なり方、構成上の特徴を生かした音楽の創作

楽器の音色の特徴、旋律とリズム伴奏との重なり方、反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、その知識を生かしながら創作表現を創意工夫することができる。

反復、変化、対照などの理解と活用

リズムパターンを選んだり、変化させたりしながらイメージに合った表現を工夫することを通して、反復、変化、対照などの意味とその効果について、より深く理解することができる。

3年間の創作表現のまとめとして

「My Melody」(教科書 p.28) でつくった旋律を活用したり、リズム伴奏を例から選択したりして無理なく活動を進めながら、ある程度の長さや複数の声部のある「作品」をつくる達成感を味わうことができる。

組曲「展覧会の絵」から

教材研究

学習目標 曲の特徴を感じ取りながら、音楽を味わおう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、様々な編曲作品に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ア)、イ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：音色、旋律、テクスチャ

教材の有効性

オーケストラで演奏される音楽のよさや美しさの感得

曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、オーケストラで演奏される音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

曲の特徴の理解

それぞれの曲に付けられているタイトルから思い浮かぶイメージや音楽的な特徴が、音色、旋律、テクスチャなどと結び付いていることを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

作品に対する理解

一つ一つの曲についてだけでなく、全曲の構成や「プロムナード」が曲間で演奏される効果など、組曲全体における作曲者の工夫についても考えながら、作品に対する理解をより深めることができる。

尺八楽「巢鶴鈴慕」

教材研究

学習目標 日本に古くから伝わる尺八の音楽を味わおう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。(知識)
- (2) 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 尺八の音色や様々な奏法による音色の変化、旋律の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、和楽器(尺八)や我が国の伝統音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B 鑑賞(1) 鑑賞 ア(ウ)、イ(ウ)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：音色、旋律
用語や記号など：間

教材の有効性

尺八楽のよさや美しさの感得

日本の伝統音楽に触れ、音楽表現の共通性や固有性などについて考えながら、尺八楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

尺八楽の特徴の理解

尺八の音色や、スリ上げ、コロコロ、タマネなどの奏法、場面を描写する旋律の特徴などについて知り、曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。

尺八楽の歴史や背景の理解

尺八楽の歴史などについて知り、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解を深めることができる。

能「敦盛」

教材研究

学習目標 能に親しみ、その音楽を味わおう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 謡や囃子の音色やリズム、速度の変化、演者の所作や舞、歴史的背景などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ウ)、イ(イ)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、速度、旋律

教材の有効性

能の音楽のよさや美しさの感得

音楽、舞踊、演劇などが一体となった日本の伝統芸能に親しみ、音楽表現の共通性や固有性などについて考えながら、能の音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

能の音楽の特徴の理解

コトバ、フシ(ツヨ吟、ヨワ吟)などの謡い方の特徴や、囃子の楽器の音色や速度の変化などの舞の音楽の特徴について知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。

能の歴史や背景の理解

日本を代表する伝統芸能の一つである能の上演形態や歴史について知り、能の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解を深めることができる。

謡「敦盛」から

教材研究

学習目標 声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したものと関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 謡の声の音色や響き、リズムや速度の変化、生み字(産み字)やコミといった曲種の特性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

A 表現(1)歌唱 ア、イ(イ)、ウ(ア)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、速度、旋律

教材の有効性

我が国の伝統的な歌唱を生かした表現の工夫

謡の演奏を通してその声の音色や歌い方の特徴を感じ取り、模倣しながら歌唱表現を創意工夫することができる。

曲種に応じた発声

模範演奏(音源)の演奏者による具体的なアドバイスを通して、声の音色や響きと発声との関わりを理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。

鑑賞の学習との関連

鑑賞教材「能『敦盛』」(教科書 p.46)と関連付けて学習することによって、我が国の伝統音楽への理解を表現と鑑賞の両面からより一層深めることができる。

世界の諸民族の音楽

教材研究

学習目標 世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 世界の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に触れ、我が国の音楽や音楽表現との比較を通して共通性や固有性について考える学習に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B鑑賞(1)鑑賞 ア(ウ)、イ(ウ)

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、旋律

教材の有効性

世界の諸民族の音楽のよさや美しさの感得

楽器に焦点を当てて世界の諸民族の音楽を聴き、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わうことができる。

音色や旋律などの特徴の理解

世界の諸民族の楽器を知ると同時に、その中から管・弦・打楽器を各1種類取り上げ、世界の諸民族の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解することができる。

異文化との比較

管楽器ではタンソと尺八、弦楽器ではウードとリュートや薩摩琵琶、打楽器ではタブラーと小鼓や大鼓をそれぞれ比較することによって、音色の特徴の違いなどから生まれる音楽の多様性を、より深く理解することができる。

ポピュラー音楽

教材研究

学習目標 ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。

三つの資質・能力別に示した学習の目標

- (1) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。(知識)
- (2) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) ポピュラー音楽の音色やリズム、旋律、テクスチャなどに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、ポピュラー音楽に対する感性を豊かにする。(学びに向かう力、人間性等)

学習指導要領の内容との関連

B 鑑賞(1)鑑賞 ア(イ)、イ(イ)

(共通事項) 音楽を形づくっている要素：音色、リズム、旋律、テクスチャ

教材の有効性

ポピュラー音楽のよさや美しさの感得

ポピュラー音楽の様々なジャンルの中から3つのジャンルの音楽を聴き、生活や社会における音楽の意味や役割、また音楽表現の共通性や固有性について考えながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わうことができる。

ポピュラー音楽の特徴の理解

ロック、ジャズ、ボサノヴァの3つのジャンルのポピュラー音楽を聴き、それぞれの音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり、それぞれの音楽の特徴(音色、リズム、旋律、テクスチャなど)と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解することができる。

様々な音楽ジャンルとの関連

「ポピュラー音楽のジャンル(海外編)」(教科書p.60)、「ポピュラー音楽のジャンル(日本編)」(教科書p.62)を併せて扱うことによって、さらに学習を広げることができる。